ちょっと自慢の公民館活動

市　町　名	松山市
公民館名	宮前公民館 地区館
連絡先（TEL）	089-952-1068
ホームページアドレス	http://www.matsuyama-people.jp/04/miyamae.html

事業分野	G	事業名	宮前地区郷土芸能継承事業
趣旨・目的	地域に古くから伝わる郷土芸能の保存・継承と人材の育成		
対　象	宮前地区伝統芸能継承者	参加人数	60名

〈 事 業 内 容 〉

（1） 概要

宮前地区に古くから伝わる郷土芸能である文楽「伊予源之丞」と「虎舞」に対し、その保存と継承を目的とした補助及び事業を行っています。各保存会は、月2回程度公民館を利用して練習を行い、その成果を文化祭や成人式、また地域の伝統的な行事の席、あるいは様々な芸能発表の場において披露しています。

① 文楽「伊予源之丞」（伊予源之丞保存会）

明治の初め、三津新町で荒物屋を営んでいた宝来屋新造が、「宝来座」という一座を組織し、三津の三穂神社で人形芝居を始めたのがこの座の起源です。

明治20年以降、大型頭の淡路人形を導入し、県内各地のほか、九州、朝鮮半島、上海まで巡業の足を延ばしましたが、大正12年の朝鮮巡業に失敗して一時解散状況に追い込まれました。しかし、有志によって再興され、昭和10年に、現在の「伊予源之丞」に改称しました。

② 「虎舞」（古三津虎舞保存会）

獅子舞の獅子頭のかわりに虎の頭を使う、全国的にも珍しい芸能で、現在では全国49団体で伝承されており、県内では唯一のものです。

起源は松山城主加藤嘉明が豊臣秀吉の朝鮮出兵に従軍した際、嘉明の軍勢が苦戦する加藤清正を助けた時に、兵士が虎に食べられたため、虎狩りをしたことが由来とされ、その様子を表したものです。

【文楽 「伊予源之丞」】

【虎 舞】